

平成 30 年 3 月定例記者会見

【3月2日(金)午前9時／4階特別会議室】

会見項目

- 1 平成29年度宮古市津波避難訓練について (危機管理課)
- 2 東日本大震災津波岩手県・宮古市合同追悼式について (総務課)
- 3 宮蘭航路開設100日前記念事業「フェリー航路PRホワイトデーイベント」について (観光港湾課)
- 4 「道の駅たろう」グランドオープンについて (田老総合事務所)

会見内容

別紙資料1～4のとおり。

記者との質疑

朝日新聞記者

資料4の「道の駅たろう」について、“重点”道の駅は、国から財政的な援助があるとか何か特典のようなものがあるのですか。

市長

財源的な助成はありませんが、整備の部分をしっかりやっていただけるということが挙げられます。

朝日新聞記者

三陸沿岸道路(=三沿道)が完成しても、現在の国道に設置される「道の駅」は素通りされてしまう心配はないですか。

市長

3月21日に田老真崎海岸ICをはじめ、3つのコンパクトIC(三沿道への乗り・降りが片方向だけのIC)ができます。三沿道はサービスエリアがありませんので、トイレに寄ったり、休憩したり、食事をしたりするには、三沿道を降りなければなりませんので、そういう利点を利用して道の駅に寄ってもらえるようPRしていきます。

朝日新聞記者

久慈市は広域道の駅をつくろうとしているようです。道の駅たろうが田老だけでなく宮古全体を活用するという考えはないのでしょうか。

市長

三沿道は、宮古盛岡横断道路と交差し、市道北部環状線と交差し、金浜にはICがあ

り、出崎地区には道の駅シートピアなどがありますので、田老から津軽石、重茂まで、宮古に滞在してもらえらるような形を市全体で構成し、道、道の駅、I Cがつくられています。また、国道340号には小国に休憩施設をつくることとしています。

朝日新聞記者

資料1の避難訓練について伺います。津波避難ビルは5カ所で十分と考えているのでしょうか、それとも、指定できるビルが無いということでしょうか。

市長

足りていないと思っています。防災に関しては「これで万全」というのはありませんので、多いほど良いと考えています。背の高いRC造のビルを追加指定できるよう、協力を呼び掛けていきたいと思っています。

岩手めんこいテレビ記者

津波避難ビルへの避難訓練は初めてということですが、どんな訓練内容でしょうか。

市長

施設の人と市の職員の誘導により、近隣住民がビルの高いところに避難する訓練です。

朝日新聞記者

深夜に津波警報が出ても、勝手に上がっていけるビルなののでしょうか。施錠されていたりしないのですか。

市長

非常階段を上がるビル、扉を開けて通るビルなど、ビルによって違いますが、上にはのぼることができるようになっています。

I B C岩手放送記者

参加者が多く集まるのはどこの会場でしょうか。

市長

今年のメイン会場は第一中学校です。40人ほどの生徒がボランティアで炊き出し訓練を行ったり、仮設トイレの組み立てを行ったりします。

朝日新聞記者

資料2の追悼式について伺います。次第を見ると、遺族代表の挨拶という場面は無いようですが…。

市長

一昨年までは遺族代表の人に挨拶を頂戴していましたが、昨年お声掛けしたときに、「6年経っても気持ちの整理がつかない」「6年経って今、何を話せばいいのか言葉が見つからない」「当時のことを思い出してしまう」等の理由で断られたため、遺族代表の挨拶は頂戴しませんでした。ご遺族の心情は複雑のようですので、お気持ちに配慮して、今年も代表挨拶はいただかないことにしました。

朝日新聞記者

語り部の田畑ヨシさんがお亡くなりになりました。故人の“こころ”をどう受け継い

でいきたいと思っていますか。

市長

ヨシさんが遺した紙芝居やビデオなどがありますので、ヨシさんの気持ちを受け継いで、後世の人に伝えていきたいと思います。

朝日新聞記者

復興計画の事業は約9割進捗しているということですが、復興における課題はどういうところですか。

市長

被災者の中に、生活の面、気持ちの面で自立していない人が、まだ大勢居ます。このような皆さんが、支障なく生活できるように、支援したりサポートしたりしていくことが大事だと考えています。

資料 1 平成 29 年度宮古市津波避難訓練について

| | |
|-------|---|
| 趣旨・目的 | 平成 23 年 3 月 11 日、本市を含む東北地方太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらした「東日本大震災」での教訓を忘れることなく、今後の津波災害に対する備えをさらに強化することを目的とし、津波避難訓練を実施する。 |
| 日時 | 3 月 11 日(日) 午前 6 時～7 時 |
| 訓練場所 | 宮古消防署、第一中学校、各津波避難所、各津波避難ビルなど |
| 主催 | 宮古市 |
| 内容 | <p>■今回の訓練の想定</p> <p>午前 6 時、緊急地震速報が流れ、直後に強い揺れを感じ、東北地方の太平洋沿岸部に大津波警報が発表された、という想定で行う。</p> <p>■訓練対象地域</p> <p>市内の津波浸水予想区域全域</p> <p>■主な訓練内容と場所</p> <p>【宮古消防署】……………災害対策本部設置運営訓練</p> <p>【第一中学校】……………避難所開設運営訓練（炊き出し、仮設トイレの組立て）</p> <p>【各津波避難所】……………避難所開設訓練（市内 32 箇所で避難所を開設）</p> <p>【各津波避難ビル】…津波避難ビル避難訓練（市内 5 カ所の津波避難ビルのうち 4 カ所[※]で行う、初の津波避難ビル避難訓練）</p> <p>※ 4 カ所＝三陸北部森林管理署宿舎（磯鶏石崎）、宮古第一病院東棟（保久田）、介護施設あお空（向町）、後藤泌尿器科皮膚科医院（大通）</p> |
| 特記事項 | <p>◎防災行政無線による放送のほかに、緊急速報メールの配信、みやこハーバーラジオへの緊急割り込み放送を行い、複数の手段で市民等へ情報伝達する。</p> <p>◎今回初めて「津波避難ビル」への避難訓練を行う。「津波避難ビル」は、高台への避難が遅れた場合の一時的な避難施設である。</p> |
| 問い合わせ | 市危機管理監 危機管理課 防災係（☎ 68-9111） |

資料 2 東日本大震災津波岩手県・宮古市合同追悼式について

| | |
|-------|--|
| 趣旨・目的 | 東日本大震災並びに大津波により犠牲になられた方々を慰霊・追悼するとともに、宮古市の復興への誓いを新たにするため、被災から7年目にあたる平成30年3月11日に、岩手県と合同で追悼式を実施する。 |
| 日時 | 3月11日(日) 午後2時30分～4時 |
| 場所 | 宮古市民文化会館 大ホール |
| 主催 | 岩手県・宮古市 |
| 内容 | <p>■式典次第(予定)</p> <p>1 国の追悼式中継【14:30～】(大型スクリーンに中継を映し出す)</p> <p>(1) 秋篠宮両殿下御臨席</p> <p>(2) 開式の辞</p> <p>(3) 国歌斉唱</p> <p>(4) 黙とう(14:46)</p> <p>(5) 式辞(内閣総理大臣)</p> <p>(6) 秋篠宮殿下のおことば</p> <p>2 合同追悼式【15:00～】</p> <p>(1) 開式の辞</p> <p>(2) 式辞(岩手県知事、宮古市長)</p> <p>(3) 追悼のことば(復興大臣政務官、岩手県議会議長、宮古市議会議長)</p> <p>(4) 追悼電報奉読</p> <p>(5) 代表献花</p> <p>(6) 一般献花(午後4時30分まで会場開放)</p> |
| 特記事項 | <p>◎犠牲者数 585人(災害関連死 55人含む)</p> <p>◎参列見込者数 御遺族、来賓、市民、関係者合わせて、約900人を予定</p> |
| 問い合わせ | 市総務部 総務課 行政係 (☎62-2111) 内線3213 |

資料3 宮蘭航路開設100日前記念事業 「フェリー就航PRホワイトデーイベント」について

| | |
|-------|--|
| 趣旨・目的 | 今年6月に開設する「宮蘭航路」を周知するため、航路開設100日前にPR事業を実施するもの。 |
| 日時 | 3月14日(水) 午前10時 |
| 場所 | マリンコープDORA・東側入口 |
| 主催 | 宮古港フェリー利用促進協議会 |
| 内容 | <p>航路開設100日前となる3月14日はホワイトデーであることから、フェリー就航をPRする記念菓子を製造し、配布などを行う。</p> <p>■宮古市内で無料配布</p> <p>小山田保育所の年長組の園児が、マリンコープDORA来場者に記念菓子(クッキー)をプレゼントして、フェリー就航をPRする。先着200人まで。</p> <p>■室蘭市内で行われる100日前記念事業「宮古の物産展」で限定販売</p> <p>同じ日に、室蘭市内で行われる「宮古の物産展」において、マリンコープDORAで配布するものと同じ記念菓子(限定50個)を販売し、機運を高める。</p> |
| 特記事項 | <p>◎記念菓子は直径約9㍉のロゴマーク入りクッキー。(株)日進堂が製造。</p> <p>◎室蘭市が行う「宮古の物産展」(宮古観光文化交流協会が対応)は、3月14日～15日、室蘭市中島商店会コンソーシアムで開催される。</p> |
| 問い合わせ | 宮古港フェリー利用促進協議会事務局 (市観光港湾課 港湾振興室内、☎68-9093) |

資料4 「道の駅たろう」グランドオープンについて

| | |
|---------------------|--|
| <p>趣旨・目的</p> | <p>道の駅たろうは、田老地区の再生・創世に向けた住民活動の交流・連携、三陸ジオパークのゲートウェイとして、「観光」「産業」「防災」をはじめ、地域の情報発信の拠点と位置づけ、整備を進めてきた。</p> <p>このたび、かねてより整備を進めてきた道の駅たろうが、関係各位の絶大なるご支援ご協力によりグランドオープンすることから、その完成を記念するとともに「道の駅たろう」について情報発信するため、グランドオープンイベントを開催する。</p> |
| <p>日時</p> | <p>4月7日(土) 午前10時～午後4時</p> |
| <p>場所</p> | <p>道の駅たろう敷地内</p> |
| <p>主催</p> | <p>宮古市、道の駅たろう連絡協議会</p> |
| <p>内容</p> | <p>■ 予定している内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 式典 ◇ 餅まき ◇ ステージイベント <ul style="list-style-type: none"> 【出演予定者等】 黒森神楽、MDS、アンダーエイジ、小田代直子、神風宮古流星海ほか ◇ 出店 <ul style="list-style-type: none"> 【出店予定】 たろちゃん協同組合、市内道の駅、キッチンカーなど ◇ お振る舞い |
| <p>特記事項</p> | <p>◎道の駅たろうは、水産物の直売や6次産業化による漁業の復興・再生の拠点として、平成28年1月27日、国土交通省が選定する重点「道の駅」に選定されている。</p> |
| <p>問い合わせ</p> | <p>市田老総合事務所 地域振興係 (☎87-2971)</p> |